

第16回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「東アジア美術における〈人のかたち〉」
 (The 16th International Symposium on the Preservation of Cultural Property—Human Figure in the Visual Arts of East Asia—)

〈人のかたち〉は、西洋美術は言うまでもなく、東アジアにおいても長い歴史を持つ美術の主題である。中国では、山水画に先行した人物画の歴史が古い。また絵巻や風俗画など、人物を描くことは日本の絵画の根幹のひとつでもあった。さらにインドにまで視野を広げれば、そこから東へと伝播した仏教美術がある。〈人のかたち〉は多くのジャンル、地域、時代そして分野を横断することのできるテーマのひとつと言える。

くわえて視覚によって伝達される世界は、本来、多様な理解が可能であり、関心が異なれば対象に迫る方法も違ってくる。このシンポジウムでは、古代から近代にいたる東洋美術史にくわえ、西洋美術史、歴史学、解剖学の分野で活躍する内外の研究者も参加し、〈人のかたち〉という普遍性をもったテーマの中で縦横に論を展開することとなった。

日程：1992（平成4）年9月29日～10月1日

会場：国立西洋美術館

9月29日

	発表者	演題
1	前川誠郎(新潟県美術博物館)	〔基調講演〕 人の〈かたち〉と〈からだ〉 (Human Figure in the Visual Arts—Its Form and Body—)
2	Helmut Brinker(チューリッヒ大学/リートベルク美術館)	〔基調講演〕 西洋の眼からみた東洋美術の人のかたち (The Human Figure in the Visual Arts of East Asia from a European Point of View)
第1セッション：〈人のかたち〉の諸相		
1	戸田禎佑(東京大学)	人物画における聖と俗—宗教性と肖像性— (The Sacred and the Secular in Figure Painting—Religious Painting and Portraiture—)
2	井上正(奈良大学)	人のかたちを神の領域へ—古代東アジア彫像の課題— (Elevation of Human Form to the Realm of Divinity—Ancient East Asian Sculpture)
3	黒田日出男(東京大学史料編纂所)	〈唐子論〉—歴史としての子供の身体— (On 'Karako': The Child's Body as History)
4	Norman Bryson(ハーバード大学)	洋画と文化交流における性的枠組み (Yoga and the Sexual Structure of Cultural Exchange)

5	養老孟司（東京大学）、布施英利（東京大学）	日本人の身体観（Human Bodies in Japanese History and Culture）
---	-----------------------	---

9月30日

第2セッション：群像表現

	発表者	演題
1	平田寛（九州大学）	仏教絵画における群像表現（Representation of Multiple Human Figures in Buddhist Painting）
2	佐野みどり（武蔵野美術大学）	物語絵画における群像表現（Representation of Multiple Human Figures in Narrative Painting）
3	奥平俊六（大阪大学）	風俗画における群像表現—主題としての群衆—（Representation of Multiple Human Figures in Genre Painting—Crowds as the Theme—）

第3セッション：人体表現における形と意味

1	Samuel C. Morse（アマーフト大学）	救済への装い—12・13世紀の裸形像—（Dressed for Salvation: The Hadaka Statues of the Twelfth and Thirteenth Centuries）
2	大西廣（メトロポリタン美術館）	一休をめぐって何が起こったか—肖像画における「破格」の問題—（What Happened around the Image of Priest Ikkyu?—On Anomalous Elements in the Portrait Painting—）
3	林進（大和文華館）	嫉妬のかたち—曾我蕭白の美人図をめぐって—（Jealousy: Soga Shohaku's Paintings of Beautiful Women）
4	島尾新（東京国立文化財研究所）	柿本人麿像における「かたち」と「意味」（'Form' and 'Meaning' in the Image of Kakinomoto no Hitomaro）

10月1日

第4セッション：裸体表現の諸問題

	発表者	演題
1	鶴田武良（東京国立文化財研究所）	民国期中国における裸体画論争（The Issue of Nude Painting in Republican China）

2	金英那（徳成女子大学校）	韓国近代洋画における「裸体」（The Nude in Modern Korean Painting）
3	辻惟雄（東京大学）	日本美術の伝統に見る「はだか」（The Nude as Seen in Japan's Artistic Tradition）
4	佐藤道信（東京国立文化財研究所）	人から人“間”へ—個としての人体—（From Hito to Ningen: The Individuation of the Human Form）
5	丹尾安典（早稲田大学）	“極東ギリシア”の裸体像（Nude Images in the "Greece of the Far East"）
6	北澤憲昭（美術評論家）	文明開化のなかの裸体（The Nude Figure during Japan's Cultural Awakening）
7	木下直之（兵庫県立近代美術館）	見世物のなかの<人のかたち>（The Human Form in Display）